

## バンドネオン三浦一馬東京グラン・ド・ソロイスト

(2023年7月22日、〈静岡〉グランシップ中ホール)



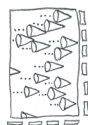
バンドネオン奏者の三浦一馬さんが率いる室内オーケストラによるピアソラの演奏会。ピアソラはタンゴを現代的に革新したバンドネオン奏者で作曲家。三浦さんはそのピアソラを継承しさらに発展させている第一人者である。

メンバーは、「グラランド・ソロイスト」の名の通り、ヴァイオリンの石田泰尚さんなど、ソロで活躍する奏者たちばかり。こうした第一線の奏者が互いに刺激しあって、情熱的で哀愁のあるピアソラの世界をつくりあげている。

当日は、最前列の左端の席がとれた。代表曲の「ブエノスアイレス午前零時」では、遠い異国の深夜の街角に立っているような錯覚に陥った。三浦さんの巧みな手指や、リズムをとる足腰の動きがよく見えた。椅子に座っても全身で音を生み出してゆく石田さんのメリハリのある演奏もストリートに届いた。石川智さんの多種多様なパーカッションが楽しかった。ライブならではの肌感覚だ。

帰りに駅で前からファンのチェロの西谷牧人さんを見かけ、言葉を交わせたのはうれしかった。(水辺あお)

## 宮崎駿監督『君たちはどう生きるか』(スタジオジブリ)



誕生日に有給休暇を取って映画を観にいった。歳を取ることを祝うような年齢ではないが、期日と成果をキリキリ求められるストレスフルな会社から解放される日が一日くらいあってもいいと思ったからだ。

映画は宮崎駿監督の『君たちはどう生きるか』に決めた。何でも調べれば瞬時に分かる現代において、タイトルとポスター一枚が発表された以外、一切のプロモーションを行わないというのも、時代を逆手に取ってうまい。

映画のテーマは戦争、環境問題、食物連鎖、家族愛、友情などで、時空を超えたファンタジー作品となっている。鑑賞後、あたたかな気持ちになったが、正直に言うとう、何か物足りなさも感じた。現実世界は、ピュアなものばかりでなく、裏も毒も闇もある。創作には、この両方の要素が必要で、作歌活動にも通じると感じた。

その後、ゆつくりカフェでランチし、ボディマッサージュを受けて、ワンピースとパンツを買い、心と体にたっぷり栄養をチャージした。(大西淳子)